

帯広開発建設部

Web 広報誌

第17号

平成29年3月21日

発行



十勝台風被害
復旧に全力

土を取り戻す。

河道掘削土を農地に提供

川に流された豊穡の大地を、
川の土から再び育てる

十勝川流域の農地では、平成28年8月の洪水などによって表土流失などの大きな被害が発生しました。農地の迅速な災害復旧を図ることを目的として、十勝川流域の帯広市や清水町、芽室町、十勝総合振興局、関係するJAなどとともに、「平成28年度大雨災害に係る農地の災害復旧工事と河川工事との十勝地方連絡調整会議」などを開催し、河道掘削によって発生する河道掘削土を提供する方針について協議を行いました。昨年12月中旬から河道掘削土の提供を開始し、2月16日に今年度の取組を完了しました。

畑の土は、農家の方々が年月をかけて作り上げてきた財産です。土を搬入することによって、すぐに台風前の農地に戻るわけではありません。しかし、台風直後、流木が散乱し、岩や砂利が散乱する荒れ地のように見えた畑に土を盛り、新たな芽を息吹させることは、農地復旧の第一歩です。

事業の連携などの分野を超えた幅広い取組によって、帯広開発建設部の掲げる十勝の復旧は続きます。



河川工事との連携により、農地に土砂が搬入される

現場見学会 NEWS

IKEDA & RIKUBETSU

帯広開発建設部では、開発局の事業の理解と建設業への興味・関心を高めることを目的として現場見学会を行っています。

12月に帯広工業高校の生徒を対象として行った見学会では、池田町の池田排水機場・十勝川資料館、陸別町の日宗小川橋下部工事の現場について学びました。

池田排水機場・十勝川資料館

池田排水機場は、池田町内の内水氾濫を防ぐため計画され、昭和58年に竣工しました。昨年8月の台風第10号では長時間にわたる稼働により、内水を利別川に排水することで、池田町を冠水被害から守りました。隣接する十勝川資料館では河川やダムに関する模型や展示物などがあり、十勝川の治水・利水・環境について学ぶことができます。



池田河川事務所職員（帯工先輩）が池田排水機場について説明



池田排水機場のポンプを稼働し、池田樋門から利別川に排水



十勝川資料館の展示資料に関心を寄せる生徒

日宗小川橋下部工事

日宗小川橋は北海道横断自動車道の陸別一訓子府間で建設中の橋梁です。昨年3月から始まった陸別町の工事現場では、橋梁の下部である橋台2基の建設が行われていました。



足寄道路事務所の職員（こちらも帯工先輩）と請負業者である萩原建設工業の技術者が工事の施工方法などについて説明を行いました



橋台は地上18.5mにも達し、地上6階建てのビルに相当します



一生懸命登っていくと、



こんな感じです

北海道開発技術研究発表会

2月13日（月）～16日（木）にかけて、札幌第1合同庁舎および北海道開発局研修センターにおいて北海道開発技術研究発表会が開催されました。216件の発表のうち、帯広開発建設部からは7件の研究課題が提出され、研究の成果を発表しました。

? 北海道開発技術研究発表会とは？

北海道開発技術研究発表会は、北海道開発事業に係る諸問題に関する調査、研究等の成果を発表することにより、技術等の向上とその普及を図ることを目的として毎年開催しており、今回で60回目を迎えました。

論文・発表は、あらかじめ課題等が決められた指定課題、自由公募の自由課題、口頭による発表が主軸のフリーセッション、という3つの形式に分かれています。



会場を埋め尽くさんばかりの聴衆の前で、発表者は自らの研究・調査成果を発表しました。発表した当部職員も緊張の面持ちで、「声やマイクを持つ手が震えた」「思ったより聴衆が多かった」などの感想が聞かれましたが、見事な発表を行いました。

発表の様子



当日の論文、資料等は以下のURLから閲覧することが可能です。一度、目を通しただけならば、我々の業務内容の一部を理解していただく参考になると思いますので、ぜひご覧ください。

資料はこちらから↓

<http://www.hkd.mlit.go.jp/topics/gijyutu/giken/index.html>

被災時の迅速な復旧を目指して 帯広電業協会と災害応急対策に関する協定を締結



帯広開発建設部では、2月17日に当部が所掌する電気・通信施設の災害応急対策業務の実施に関して、帯広電業協会と協定を締結しました。

本協定は、地震、豪雨、豪雪等の災害が発生、又は発生する恐れがある場合に、当部が所管している電気・通信施設等の応急措置の実施について、支援のために必要な専門技術者及び資機材の確保、動員の方法などに関する事項を定め、協力体制を整備し、被害の拡大防止と被災施設の早期復旧を図ることを目的としています。このことにより、電気・通信施設に被災があった場合に早期復旧が可能になります。

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール 帯広ブロック表彰式及び情報交換会開催

2月24日、帯広市市民活動交流センターにおいて「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール帯広ブロック表彰式及び情報交換会が開催されました。

「わが村は美しくー北海道」は北海道の農山漁村・農林水産業を通じた地域づくりを応援する取組として平成13年から行われています。

全道86団体の応募の中から、選考の結果、魅力ある地域づくりの優れた活動として、優秀賞14団体、奨励賞26団体が選ばれ、そのうち帯広開発建設部管内からは、優秀賞2団体、奨励賞4団体が受賞となりました。受賞の栄誉に輝いた各団体に対し、河畑帯広開発建設部長から賞状が授与されました。今回表彰された全道の優秀賞の中から来年度大賞を決定することとなっています。

表彰式に続いて、情報交換会が行われ、各団体の取組や地域の活性化について、意見交換がなされました。



受賞されたみなさん、おめでとうございます

【優秀賞】十勝パンを創る会(帯広市)、(株)アグリファッショングループ(帯広市)

【奨励賞(開発建設部長表彰)】北海道帯広農業高等学校(農産加工分会ピネガ一班)(帯広市)

十勝品質事業協同組合(帯広市)、北海道士幌高等学校(環境専攻班)(士幌町)

農と暮らしの委員会(士幌町)

※敬称略